

8/1（土）ほとりでに「空間美術館-大阪-」がオープン

～アートをきっかけとした「暮らしのイノベーション」の創出～

令和8年8月1日（土）、独立行政法人都市再生機構（以下、UR都市機構）と公立大学法人大阪が設置する、暮らしと学びの実験フィールド「ほとりで」（UR森之宮ビル）に、アーティスト千田泰広（ちだやすひろ）による、空間そのものの体験を作品とした「空間美術館-大阪-」（以下、当美術館）がオープンします。

空間美術館合同会社（代表：千田泰広）が、当美術館を、ほとりでの管理運営を担うリンケージ・ロフト・勝丸・オンデザイン・大和共同企業体（代表企業：URリンケージ）と連携し、地域の方々にも協力いただき運営していきます。

作品制作に関わった地域の方々が当美術館で働き、来館者が地域の方々の話を聞いて地域に触れ、当美術館が新たな地域のイメージとなることで、アートをきっかけに、まちと地域の方々や来館者との関わりが生まれます。この関わりが、当美術館で、「暮らしのイノベーション」を創出していきます。

■空間美術館-大阪-（Museum of Spatial Art OSAKA）の概要

- ・オープン：令和8年8月1日（土）
- ・開館時間：13時30分～19時30分
- ・開館日：木・金・土・日
- ・場所：大阪市城東区森之宮 1-6-85 UR森之宮ビル（受付：1Fほとりで）
- ・入館料：平日1,500円、土日1,800円、小学生以下無料（要保護者同伴）
- ・主催：空間美術館合同会社（代表・アーティスト：千田泰広）
- ・後援：UR都市機構、公立大学法人大阪、リンケージ・ロフト・勝丸・オンデザイン・大和共同企業体
- ・協賛：株式会社日立製作所、吉祥寺美術館

HITACHI



※完全予約制。詳細は公式サイト（<https://spatialart.org/>）をご確認ください。

＜本件に関するお問い合わせ先＞

空間美術館合同会社

MAIL：spatialartorg@gmail.com

URリンケージ 西日本支社 山本、辻田

TEL：06-6949-5726

UR都市機構 西日本支社 表田

TEL：06-4799-1231

※空間美術館のご予約は、公式サイトからお願いします。（<https://spatialart.org/>）

世界を巡る光、大阪に。

世界各地でライトアートの概念を更新し、世界の9人に選ばれるなど、業界を牽引するアーティスト、千田泰広。

これまで国内では目にする機会が限られていた、世界最高峰の傑作たち。それらを集めた、世界初、空間作品の美術館が大阪にオープンします。

そこに在るのは、言葉を失うほどに純粋な、光と空間の彫刻。眺めるのではなく、静寂の中で空間そのものと共鳴する。

全身で感じる、至高の空間体験を。

空間作品とは、 空間を体感できる、あるいは空間そのものを意識して作られた作品のことです。私たち自身を含め、あらゆるものは空間の中に存在していますが、空間そのものは知覚することができず、その存在を意識することはあまりありません。

「落着く空間」など、空間という言葉が日常で用いる時、それは主に家具や配置が醸す「雰囲気」を指します。しかしここでは、その雰囲気ではなく、空間そのものに焦点をあてたいと思います。

画家が平面の中でなんとか表現しようとしてきたことや、人が建築に多大な労力を費やして実現してきたことから、空間そのものに美しさがあるのではないか、というのが私たちの問いです。



[Spectrum]
Photo © 2021 Yasuhiko Chida



[Aurora]
Photo © 2020 Christian Kasper

市民が作り、市民がガイドする。

当日みなさまをご案内するのは、単なる美術館ガイドではありません。空間美術館-大阪-は、暮らしと学びの実験フィールド「ほとりで」の協力の元、アーティストと近隣の市民、学生との協働によって作られました。実際に手を動かして作品を制作し、壁を塗り、什器を作り、文字通り美術館を作った人たちがみなさまをお迎えする、今までにない美術館です。



住所：大阪府城東区森ノ宮 1-6-8 5UR森之宮ビル(受付：1Fほとりで)

開館時間：木～日 13:30-19:30

ツアー料金：平日1,500円 土日1,800円 小学生以下無料(要保護者同伴)

完全予約制：QRコードよりご予約ください。

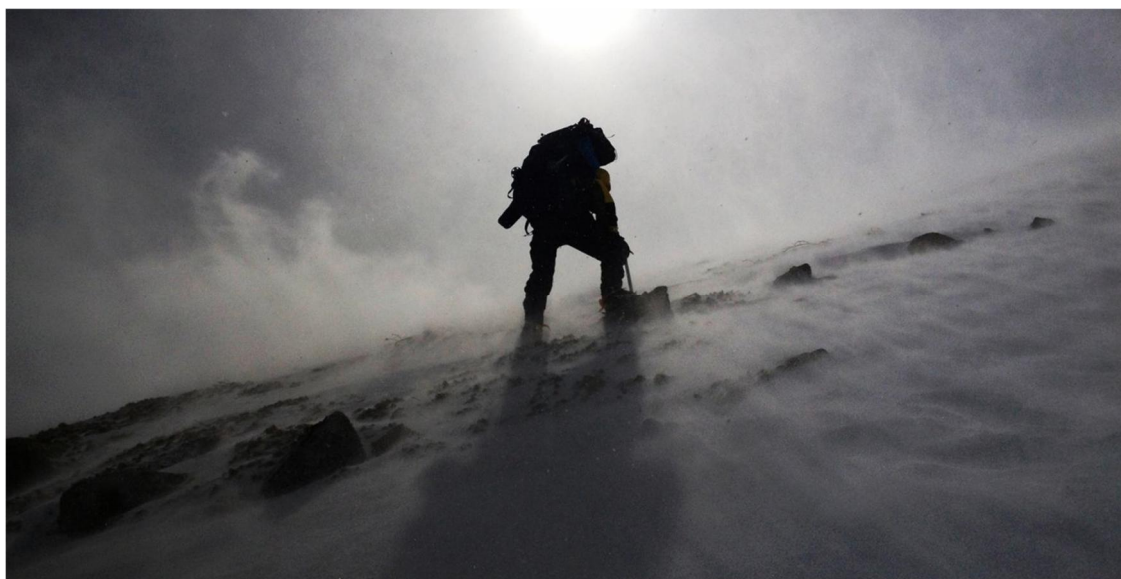
AA Art and Audio

新しい美術の鑑賞の仕方『Art and Audio』。ヘッドフォンをして、専用に作曲された音を聴きながら作品を鑑賞します。音を担当するのは宮本朝子とShinji Wakasa。音が作りだす空間と視覚から作られる空間が混じり合う体験をお楽しみください。

主催：空間美術館同業会社 後援：UR都市機構、公立大学法人大阪、パートナー事業者（代表企業：(株)URリンクージ）
協賛：(株)日立製作所、吉祥寺美術館



千田泰広の紹介



1977 年北海道(日本)生まれ。アラゴン(スペイン)拠点。2002 年よりインスタレーション作品を発表。2025 年、空間作品に特化した美術館建設のための Museum of Spatial Art LLC を設立。

「空間の実体化」を主題に、膨大な手作業による空間作品を制作。世界の主要な展示、芸術祭に数多く参加。大規模な回顧展が各国で開催され、世界のライトアートを牽引する。

Artdex「9 人の光のアーティスト (2019)」、米光学誌 OPTICA「光学と芸術 (2022)」等に掲載される。

千田泰広氏のコメント

長い間、作品を作るために材料や現象の研究を行ってきました。しかしそれは常に人間の研究であり、存在に対する問いでした。人間の存在の目的、それを知ることは原理的に不可能でしょう。しかし、人間にとって最大の体験は何か。その問いは存在の意味への微かな手がかりとして、またはそれが叶わなくとも、体験の喜びには何かしらの価値があるのではないかと考え、制作をしてきました。

人間は何を知覚することが可能で、それを知覚した時にどう反応するのか。私是一个である自身の身体を通して、個の先にある普遍的な人間の存在を探っています。それはこの与えられた外界を探ることと繋がります。作品がそれを体験する人々の表面的な差異を超えた奥深く、人間という生物であること、宇宙の一端であることに反応するものであればと思います。

現実は無限に美しく、不思議です。現実とは人が知覚や思考の範囲を拓けることで拡大されてきました。しかし私たちが想像出来ること、考えられることは限られています。作家は思考を介さず、手で素材を扱うことで、現実の無限性と不思議さをそのまま作品へと変えられるのではないのでしょうか。現実には手で触れ、イメージから現実を解放し、何も描かない、何も表わさない。世界の不思議さそのものの、人間の可能性を見たいのです。

暮らしと学びの実験フィールド「ほとりで」の概要

所在地：大阪市城東区森之宮 1-6-85 UR森之宮ビル

アクセス：JR大阪環状線・大阪メトロ「森ノ宮駅」より徒歩5分

開館日：10:00～20:00（火～金）※土日祝はイベント等の利用希望に応じて開館

運営：UR都市機構・大阪公立大学

【「ほとりで」が目指すもの】

「ほとりで」は、暮らしと学びに関する多様な活動ができる実験フィールドとして、まちに住まう方や、新たに集う大学生、周辺で働く方々などまちに関わる人々の“やりたい”という想いを受け入れ、“やってみた”へと育みます。コミュニケーターが訪れた人々の想いを汲み、活動をサポートします。「ほとりで」のロゴマークは、自由で豊かな変化を受け入れる余白を持ちつづけ、このまちと人、あらゆる種の営みとともにゆるやかに息づいていく様子を表現しています。

「ほとりで」で“やってみた”活動がまちに関わる人々の暮らしのイノベーションとなり、“変えようと思えば、まちを変えられる”という実感を得て、地域への愛着が湧き、一人ひとりの暮らしがより豊かになっていくことを目指します。



UR 森之宮ビルの外観



「ほとりで」のロゴマーク

【「ほとりで」の主な機能】

「ほとりで」は、まちに関わる多くの人々にご利用いただける暮らしと学びの実験フィールドとして、以下のゾーン、スペースを有しています。このたび、既存ゾーン、スペースに加えて「空間美術館-大阪-」を新設いたします。



アクティブゾーン



フォーカスゾーン



共創ゾーン

○アクティブゾーン

まちに関わる人々の“やりたい”をサポートするシェアスペース。什器に工具不要で簡単に組立て・解体が可能な「プレイスメイキングキット」を配置し、交流・情報発信・チャレンジショップ・飲食等のアクティブな利用が可能。

○フォーカスゾーン

会議・セミナー・ワークショップ・集中した作業等のためのシェアスペースであり、予約することで占有利用（有償）が可能。

○共創ゾーン

大阪公立大学とともに、創造的な研究や社会実装に向けた取り組みを支援するためのシェアスペース。創造的な発想を促すリラックスできる什器がそろっており、様々な会議やワークショップに対応。

○エントランススペース

ロビー空間として人を出迎える他、情報発信や高さのある空間を活かした様々なプログラムの場としても活用。

○情報発信スペース

訪れた人に向けた情報発信スペース。当初期間では、かつてUR都市機構旧西日本支社であった歴史も踏まえ、UR都市機構に関するパネルを展示。

○実証実験スペース

様々な研究を社会に還元するために実証実験を行うためのスペース。

■リンケージ・ロフト・勝丸・オンデザイン・大和共同企業体

株式会社URリンケージ、株式会社ロフトワーク、株式会社勝丸山建築計画、株式会社オンデザインパートナーズ、大和工業株式会社

代表企業であるURリンケージは、まちづくりに関する様々な業務を通じて培ったノウハウでソリューションを提案する、総合的まちづくり・すまいづくり支援企業。日本の“まち・すまい”に関する課題に対し、お客様と共に向かい合います。

<株式会社URリンケージ公式サイト>

<https://www.ur|k.co.jp/>

■公立大学法人大阪

公立大学法人大阪は、大阪公立大学、大阪府立大学、大阪市立大学、大阪公立大学工業高等専門学校を設置・運営する地方独立行政法人です。質の高い教育研究を通じて、グローバルに活躍する人材を育成すると共に、イノベーション創出や都市・社会課題の解決による大阪・日本・世界への貢献を目指しています。

<公立大学法人大阪公式サイト>

<https://www.upc-osaka.ac.jp/>

■UR都市機構

UR都市機構の歩みは戦後の住宅不足解消に端を発しています。1955年から様々なステークホルダーとともに、時代時代の多様性に即し、安全・安心・快適なまちづくり・くらしづくりを通して、「人が輝く“まち”」の実現に貢献してまいりました。そしてこれからも、変化する社会課題に挑戦し続ける

ことで皆さまにお応えし、「人が輝く“まち”」づくりに不可欠な存在でありたいと考えております。
これまで培ってきた持続可能なまちづくりのノウハウをいかし、都市再生事業・賃貸住宅事業・災害復興支援・海外展開支援に全力で取り組んでまいります。

<UR都市機構公式サイト>

<https://www.ur-net.go.jp/>

